

第 11 回 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 議事録	平成 24 年 12 月 25 日（火） 15:00-16:30 日野市役所 101 会議室
■出席者	
1. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会	
会長	竹宮 健司 首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 教授
副会長	小根山 裕之 首都大学東京 都市環境学部 都市基盤環境コース 教授
委員	有山 一博 日野市聴覚障害者研究会
	佐々木 信行 ピープルファースト東京
	田辺 邦夫 日野市視覚障害者協会
	西久保 修治 日野市老人クラブ連合会
	早川 裕子 市民サポートセンター日野
	藤井 恵 公募市民
	藤田 博文(欠席) 自立生活センター日野
	大川 稔(代理)
	井上 敏夫 日野市商工会
	大場 主雄(欠席) 日野市社会福祉協議会
	島 一喜(欠席) 独立行政法人 都市再生機構
2. 日野市	
	日野市まちづくり部長 大坪 冬彦
	日野市企画部長 荻原 弘次
	日野市健康福祉部長 川久保 紀子
3. 事務局	
	日野市まちづくり部都市計画課、株式会社アルメック
■議事	
1 諮問事項【諮問第 6 号】第二次日野市バリアフリー特定事業計画の策定について	
2 第二次日野市バリアフリー特定事業計画（素案）について	
3 耳マーク表示板の設置について（報告）	
4 審議・意見交換	
5 今後の予定	
■配布資料	
・資料-1 第二次日野市バリアフリー特定事業計画（素案）	
・資料-2 耳マーク表示板の設置について（報告）	
・資料-3 名簿	
・資料-4 第 10 回UD協議会議事録	

■審議・意見交換

- 委員 : 都市計画道路 3・4・8 号線で、東京都が事業主体となって電線共同溝の工事が実施されているが、なかなか終わらず電柱等がそのままとなっている。また、共同溝はミニストップのあたりまでは行われているようだが、整備はどこまでの範囲か。
- 事務局 : 今回の整備はミニストップまでと理解している。整備の完了の時期は確認したい。
- 委員 : 京王バスが高幡不動駅と立川駅間を 1 時間に 1 本で運行しているが、1 時間に 1 本では不便。国体のときはミニバスの運行等を計画しているのか。
- 事務局 : 当該の路線は一般路線であり、これまで高幡不動駅と立川駅間を走行していた経路が日野駅を経由するようになったもの。増便等のご要望があれば事業者伝える。国体期間中のミニバス運行については、担当部署からの打診は今のところ受けていないが、必要が出た場合はしっかり関係部署と調整をする。
- 委員 : 水道やガス、ケーブルテレビ等の工事で、歩道が何度も掘り返されていて、デコボコしている。自転車にも危険だと感じている。
また、国体開催に合わせてミニバスの運行を考えてもらえると、高齢者も会場に行きやすくなると思う。
- 事務局 : 承知した。ご意見として承る。
- 委員 : カラー舗装とは何色を指すのか。青色か。
- 事務局 : ワインレッドか緑を想定している。青は一般的に、自転車通行帯に使用されている。
- 委員 : P150 の日野高幡郵便局、P163 のひらやま児童館の駐車場の掲示が小さく利用者から気付かれにくいと思う。
- 事務局 : 駐車場が 1 台しかないなど利用実態によるところもあると理解している。また、今後の進行管理の過程で改善が図られるようにしていきたい。
- 委員 : 見てすぐ分かる掲示であるべきだと思う。
あと、耳マークが各窓口に置かれていないようだがどういう状況か。保険年金課や生涯学習課には設置されていなかった。
- 事務局 : 今現在数に限りがあるため、基本構想で生活関連施設と位置付けた施設にまず設置した。市役所の窓口は各フロアの来客が多いと見込まれる課へ設置した。理解促進に向けた一歩として、捉えて頂きたい。
- 委員 : 一般的なことだが、バス停に点字ブロックかもっと簡易なものでも良いので、足触りで分かるものがないと通り過ぎてしまう。すべてに付けるのは不可能だと思うので、当事者である視覚障害者の利用が多いところや、要望があったところには設置してほしい。私は旭ヶ丘四丁目バス停を使うことがあるが、そこは点字ブロックはない。今では盲導犬がある程度覚えていてくれるが、視覚障害者には足触りが重要であることを理解してほしい。
また、まだ視覚障害者の要望も統一されていないと思うが、駅ホームに対して平

行にラインが入っている点字ブロックと、階段の近くの駅ホームに直角に設置されている点字ブロックが、ホームから落ちないように知らせているものか、階段を知らせているものか、足触りでは判断しにくいものがある。研究してもらえればと思う。

また、最近豊田駅のスクランブル交差点の音響信号が改善され、大変ありがたい。おかげで気が楽になった。もし音が大きいといったクレームがある際には、音を小さくするなどの対処をとっても構わないが、取りやめということだけは避けて頂きたい。

事務局 : 以前から要望いただいている旭ヶ丘四丁目バス停については、バス事業者とも調整しており時間を頂いているところ。もう少し時間をいただきたい。

駅ホームに対して平行にラインが入っているブロックとは、内方線付のブロックのことだと思う。そのブロックはホームからの転落防止を知らせるために設置されているもの。鉄道事業者によって整備が進められているところ。ホームの新設や改修の際には設置されることになっている。内方線付ブロックは乗降客数が多い駅から優先して設置をすると国が方針を出しており、鉄道事業者もそれに沿って進めているとのこと。鉄道事業者にも要望をしているが、引き続き要望していきたい。

スクランブル交差点の音響信号については事前に近隣住民にチラシを配布しており、それ以降でクレーム等はきていないので、現在のところ問題ないと考えている。

委員 : P111 のバス接近表示機とはどういったもので、どういう場合に設置されるのか。

事務局 : 先発や次発の表示のようなもので、あと何分で当該バス停からバスが発車するかということがわかる表示機器。視覚情報が表示されている。バス事業者が主に利用者の多いバス停から優先して設置していると思われる。

委員 : P35 の場所では、イオンモールが計画されているはず。計画そのものがわかっているのであればより詳細な情報をこの計画書に掲載してほしい。交通流や量にも少なからず影響があると思う。

事務局 : ベースの地図が古いことは次回までに修正をする。イオンモールの詳細な情報を本計画に掲載できるかどうかは調整させていただく。

会長 : 駐車場での優先表示が小さいという意見があった。利用者が利用しやすい表示が望ましいと思われる。協議会の中で見にくいと意見が出たということ、なるべく事業者伝えて頂いて、より利用しやすい整備になると良い。

バス停の位置を示す点字ブロックの設置はシンプルでも良いので、足触りで分かるような整備の要望があった。関係部署と検討していただければと思う。

駅での点字ブロックの分かりにくさの意見が出た。障害者の方々の中でも統一的な見解の理解がまだ進んでいないということであつたが、造る側と利用する側の意思疎通がうまくできていない場合もあると思う“どのような方針でどういう敷

き方をしているのか”といった情報提供が必要かもしれない。事業者と利用者が相互理解をしながら検討していけると良い。

イオンモールの開発もかなり大規模なものになると思うので、事業者にも出来る限り情報提供していただけると良い。

副会長 : 特定事業計画全体の中で、個別の事業がどのように位置付けられているのか、全体がどこまで進んでいるのかという見通しがやや分かりにくいと思う。推進計画全体の今後の見通しなども分かるようなものがあると良い。

事務局 : 前回の基本構想で進められた特定事業計画の実施状況に関しては、平成 22 年度までに整備されたものを表した図面はある。改訂にあたり、ある程度時間が経過した際には整備率等を数字や図で表して進行管理会議でお示しできるようにしたい。

副会長 : 一つの案だが、それぞれの重点整備地区の図面上で表せばよりわかりやすいと思う。建築物特定事業は個別の整備の進み方があると思うので、図面で示すのは難しいかもしれないが、道路特定事業は図面上で示すと分かりやすいと思う。

委員 : 本計画の整備内容にだれでもトイレの整備があるのは良いことだと思う。ただ、重点整備地区外の小さな公園とかにトイレが無くて困っている人もいる。また、コンビニエンスストアのトイレで車いす対応でないものがあるが、今後はコンビニのトイレもバリアフリーの配慮が必要である。震災対応という側面からも必要があると思う。

事務局 : コンビニエンスストアは市のユニバーサルデザイン推進条例の届け出の対象になるので、今後新規設置されるものについては条例の基準に従ってバリアフリー対応のトイレが設置されていくとご理解いただきたい。

委員 : だれでもトイレは利用マナーが悪いところが増えているようだ。マナーに関する啓発表示等も同時に必要だと思う。

事務局 : 今後、利用マナー向上の啓発を検討していきたい。

会長 : 特定事業計画の内容以外の意見もでたので、そういった意見も今後の参考にしていただきたい。

また、事業の整備状況が分かるものを進行管理会議の中でまとめていただけると、より進行管理がしやすくなると思う。

以上で本日は終了します。ありがとうございました。

以上